



情報処理職

大阪府警察職員



情報処理職とは

警察は、個人の生命、身体、財産を守り、社会の安全と秩序を保つため、総務、警務、生活安全、地域、刑事、交通、警備の各部門において多様な活動を行っています。

情報処理職は、これら各部門の活動基盤となる情報システムの設計・開発・運用など情報処理に関する業務を専門的に行う、いわば大阪府警察における **ITのスペシャリスト**です。

求める人材

- ✓ I T人材として必要な知識・技能を有し、I Tを活用して課題解決を図ることができる人材
- ✓ 向上心と探究心を持ち続け、I Tのスペシャリストとして活躍できる人材
- ✓ 自身のスキルを活かして「府民の安全と安心を守りたい」という熱意ある人材

業務内容

- ✓ プロジェクト管理
システム要件を整理し、ベンダーと仕様交渉等を行います。
- ✓ システム開発
内製によるシステム開発も行います。
- ✓ 情報インフラの構築・運用
2万人以上の警察職員が利用する情報インフラを支えます。

勤務場所等

- ✓ **勤務場所**
大阪府警察本部、門真運転免許試験場 など
※ 主に警務部高度情報推進課に配属されます。
- ✓ **勤務時間（勤務場所により異なる場合があります）**
午前9時から午後5時45分まで（正午から午後1時までは休憩時間）
※ 原則として、土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休みとなります。
- ✓ **当直勤務**
勤務場所により当直勤務があります。

勤務条件



給与

初任給は、学歴及び経歴に応じて一定の基準により決定

R 4.4 採用で大卒22歳～月額 205,900円程度（地域手当含む）

→ 通勤、住居、時間外勤務、期末等の諸手当は条件に応じて支給



休暇

年次休暇（年20日※）、特別休暇（夏期・結婚・出産等）、
介護休暇、子育て部分休暇、不妊治療休暇など

※ 採用の年の年次休暇は、4月採用の場合15日となります。

キャリアパス

28歳以上の採用者の場合
最短で4年目に
係長へ昇任可能



受験資格

選考実施年度の3月31日現在40歳以下の人で、次のいずれかに該当する人

学歴

大学、短期大学、大学院若しくは
高等専門学校又はこれと同等と
人事委員会が認める学校において
電子、情報、通信、その他の電子計算機に
よる情報処理に関する課程又はこれらに相
当する課程を修めて卒業（修了）した者
（採用予定日までに見込みの者を含む）

いずれかの試験に合格している者

資格

- 応用情報技術者
- ITストラテジスト
- システムアーキテクト
- プロジェクトマネージャ
- ネットワークスペシャリスト
- データベーススペシャリスト
- エンベデッドシステムスペシャリスト
- ITサービスマネージャ
- システム監査技術者
- 情報処理安全確保支援士
- 技術士（情報工学部門）

※その他、これらと同等以上の能力を有すると人事委員会
が認める試験

OR条件です

選考内容（選考科目・出題分野など）

第1次選考

教養考査（小論文）

⇒社会事象に対する基礎的知識、論理的思考力、企画提案力、文章作成力などを問います。

専門考査（記述式）

⇒情報処理システムの開発及び活用に必要な専門的知識を問う記述式の問題を出題します。

第2次選考

個別面接

⇒理解力、表現力などについて面接を行います。

口頭試問

⇒情報技術に関する専門知識について口頭試問を行います。

適性検査

★大阪府警察ホームページに選考案内を掲載しています。

大阪府警察のデジタル化を更なる高みへ

I o T、A I、5 Gなどの言葉を耳にしない日がないほど、社会全体にデジタル化の波が押し寄せています。デジタル社会へ進化する中でも府民の安全と安心を守るためには、犯罪をはじめとする警察事象の対応にI T技術をうまく取り入れていくほか、行政手続きや刑事手続きのデジタル化、サイバーセキュリティへの対処など、府警においてもD Xを推進していかなければなりません。これらの課題に取り組む

“ チャレンジ精神旺盛な I T 人材 ” を求めています。

是非、あなたの知識と経験を大阪府警察で発揮してください！